

令和4年(2022年)度 吹田第三幼稚園 自己評価結果公表シート

1. 本園の教育目標

やさしくたくましい子ども

・心身ともにいきいきとした子ども ・自ら遊びをつくりだす子ども ・自分も友達も大切に作る子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ① 努力目標『健康な体作りについて考える』
・『食育』と『リズム遊び』を計画的に進め、内容を充実させる
・園内研修を充実させ、教師の資質を高める
- ② コロナ禍の中での保育の工夫や充実を図る
- ③ 『食育だより』を通して保護者に情報を発信し、試食会やアンケートを通して保護者と共に食育を進める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
食育	A	計画的、継続的に進めていけるよう短期指導計画の中に意識的に取り入れ、年間18回食育だよりを発行した。参観などで3色食品群ゲームを保護者にも見てもらったり、試食会やアンケートを通して園と家庭が一体となって取り組み、子供達のいろいろなものを食べてみようという意欲に繋がった。
教員の資質向上	B	幼稚園教育研究会保健部会の中での食育についての研究や講師の先生による教師への指導助言、また研究保育による園内研修の実施など、保育の充実に関わり、日々の保育に活かすことができた
保育の充実	A	昨年度からのコロナ禍における感染対策や生活様式を、保護者の理解や協力を得ながら職員や子供達と共に徹底して取り組む中で、日々の保育の打合せや反省を丁寧に行い、できる事やできない事を明確にしながら短期長期の計画に反映させ、職員全員で共通理解することで、保育の充実につながった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価 評価の基準

結果	理由
B	園児数が少ない事で、一人ひとりと時間をかけて丁寧に取り組み、個々に応じた関りができることで、子供自身が向上心をもって取り組む姿勢に繋がった。 これからも、幼児理解を深め、職員で共通理解を図りながら日々の保育を進めていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育の充実	個々の子供の姿や育ちについて丁寧にとらえ、関係機関との連携や保護者との共通理解を図りながら、職員全員でより充実した支援体制を考え、推進する。
保幼小中の交流	中学校ブロックでの行事参観や参加など、園児や教師が交流できるよう発信し、連携へと繋げる一歩を踏み出せるようにする。
未就園児事業の充実	2、3 歳児教室の充実・回数の増加、園庭開放の実施などを行い、地域の未就園児親子が幼稚園に気軽に来ることができるよう場にしていきたい。

◎3.4 の評価結果の表示方法

A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分ではない

D:取り組みが不十分である